



「優れた地域材製品や利用事業者への満足度や評価に関する情報発信」 実施報告



一般社団法人 日本ウッドデザイン協会
本事業は「令和6年度ウッド・チェンジ拡大促進支援事業」(林野庁)により実施しています。

本事業の趣旨:

日本は面積の70%が森林である、世界有数の「森林大国」です。そのなかで、主に木材生産のために人の手で植えて育てているスギ、ヒノキなどの人工林が40%ほどあります。戦後、安い外国産材などに押され、これらの森林に手が入らず育ちすぎて荒れた状態になっているのが現状です。

国産材をより積極的に暮らしのなかに取り入れていただくため、生活者の皆様に「木を使った製品」について、どのような感想や意見をお持ちか、を調査しました。

具体的には、「飲食店」様と連携し、そこを訪れるお客様に対して、通常、陶器やステンレス製で提供されている食器等を木材を使った製品に置き換え、利用イメージをアンケート等で調査、結果をとりまとめました。

実施内容:

店舗にて通常お客様にご提供される食器(プラスチック、陶器、ほか木材以外の素材を使っているもの)を木製食器に置き換えて、その木材の産地や生産者、その他付帯情報とともにご提供いただき、ご使用后、アンケート調査にご協力いただきました。ご協力いただいたお客様には木製のノベルティを差し上げております。

ご提供する食器:木製のカレー皿、トレイ、フォーク・スプーン、サンドイッチ等を乗せる皿、プリン皿。

調査場所: Marunouchi Happ.Stand & Gallery (東京都千代田区丸の内2丁目5番地1 丸の内2丁目ビル1F)



提供方法:通常、陶器及びステンレス製の食器を国産材活用の木製食器に置き換えて提供。



情報提供の方法: アンケート及び木製食器のストーリーのパネルを掲示、同内容のチラシを顧客に配布。

「木の製品の使用印象調査」 に関するアンケートへご協力をお願い

Marunouchi Happ. Stand & Gallery に「木の食器」をお使いいただいた印象について、簡単なアンケートにご協力ください。ご協力いただいた方に「木」から作られた素敵なノベルティを差し上げます。

素敵な
ノベルティを
差し上げます!

実施期間： 2月26日(水)～2月28日(金)
(先着140名様。ノベルティがなくなり次第、終了します。予めご了承ください。)

実施方法： お配りする「木のストーリー」をお読みいただき、木の食器でご飲食をいただいた後、以下の方法にて木の食器に関する簡単なアンケートにお答えください。
(所要時間5～10分程度)

1. お手持ちのスマートフォンから Web フォームでお答えください。
(QRコードを読み取り、アンケートフォームへお入りください。)



2. アンケート用紙に記入してお答えください。
(アンケート用紙はスタッフへお声がけください。用紙はお会計時にお渡しください。)

ノベルティ： 下記のいずれか1品をお選びください。
(ご希望のノベルティが品切れの場合は他からお選びください。)

① 木のノート
木の香りが美しく、
優しい感触の
B6サイズのノート

② ヒノキのアロマオイル
リラックス効果をも
たらす木の成分を
活かしたアロマ

③ 木粉のタンブラー
雑材やおくずから
生まれた、高級感ある
木由来のタンブラー



企画・実施 一般社団法人日本ウッドデザイン協会
公式サイトはこちら →



本調査は林野庁補助事業として実施しています。

日本の森林を守る、木の食器が届くまで



日本は国土面積の70%が森林である、世界有数の「森林大国」です。そのなかで、主に木材生産のために人の手で植え育てているスギ、ヒノキなどの人工林が40%ほどあります。戦後、安い外国産材などに押され、これらの森林に手が入らず育ちすぎた荒れた状態になっているのが現状です。



健全な森林は木材をつくるほか、水を蓄えて栄養分とともに川に送ってくれたり、根を張って土砂災害を防止するなどの役割もあります。また森林は二酸化炭素を吸ってくれるので、地球温暖化防止にもつながります。適切に枝を切ったり、細い木を切ったりして、森を健全に保つことが大切です。



林業は、森林を維持管理しながら、育成した木を伐採(ばっさい)して木材を生産する仕事です。伐採した助地を再び森林にして木材として利用するために、植林して間伐等の手入れをしながら、森林を管理しています。苗から丸太になるまでは実に50～60年の年月を要します。

丸太を木材の形に整えることを製材(せいざい)といいます。木材は住宅の建材などに主に使われますが、1本の丸太からさまざまなサイズの木材ができます。これらを活用して、家具や雑貨をつくり、「使い尽くす」ことで価値を上げて、森林の育成にお金を戻すことが必要なのです。



皆さんにお使いいただいている「木の食器」たちはこのような旅を経てつくられた、森林や林業に関わる人々の思いのこもった製品です。本日お使いいただいた木の食器たちは、主に岐阜県の東濃(とうのう)地域の森林からとれた「東濃ヒノキ」という木材を使ったものです。



日本の森林から木の食器が届くまでのストーリー、いかがでしたでしょうか。国産の木材を使った住宅や家具、雑貨や食器、おもちゃなどを使っていただくことによって、「植えて・育てて・使って・使って・また植える」という健全な森林のサイクルを回すことに、力を与えてくれるのです。

文：日本ウッドデザイン協会 写真提供：フロンティア・パノラマ イラスト提供：林野庁

アンケート内容:任意でアンケート回答を承諾した顧客にスマートフォンからの入力フォームまたはアンケート用紙へ記入してもらう方法で実施。回答者には木製ノベルティを贈呈。

「木の製品の使用印象調査」 に関するアンケートへご協力をお願い

Marunouchi Happ. Stand & Gallery にて「木の食器」をお使いいただいた印象について、簡単なアンケートにご協力ください。
ご協力いただいた方に「木」から作られた素敵なノベルティを差し上げます。

実施期間:2月26日(水)から2月28日(金)の3日間
(先着140名様。ノベルティがなくなり次第、終了します。予めご了承ください。)

実施方法:お配りする「木のストーリー」をお読みいただき、木の食器でご飲食をいただいた後、以下の方法にて木の食器に関する簡単なアンケートにお答えください。
(所要時間5~10分程度)

1. お手持ちのスマートフォンからWebフォームでお答えいただく
(以下のQRコードを読み取り、アンケートフォームへお入りください)



2. アンケート用紙に記入してお答えいただく
(アンケート用紙はスタッフへお声がけください、用紙はお会計時にお渡しください)

ノベルティ:下記のいずれか1品をお選びください。
(ご希望のノベルティが品切れの場合は他からお選びください。)

- ①木のノート: 木の表紙が美しく、優しい手触りのB6サイズのノート
- ②ヒノキのアロマオイル: リラックス効果をもたらす木の成分を活かしたアロマ
- ③木粉のタンブラー: 端材やおがくずから生まれた、高級感ある木由来のタンブラー



JWDA
もっと、木と

企画・実施 一般社団法人日本ウッドデザイン協会
公式サイトはこちら→



本調査は林野庁補助事業として実施しています

「木の製品の使用印象調査」アンケート用紙

はじめにあなた様のプロフィールをお伺いします。

1. あなたの性別をお答えください。(回答を○で囲んでください)
・男性 ・女性 ・不回答
2. あなたの年齢(年代)をお答えください。(回答を○で囲んでください)
・10代 ・20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代以上
3. 本日まで使用いただいた木の食器は、次のうち、どれですか？(回答を○で囲んでください 複数回答可)
・カレー皿とスプーン ・フォーク ・丸型プレート ・プリン皿
4. お使いいただいた木の食器について、どのような感想を持ちましたか？
・良かった → 5. にお進みください
・良くなかった → 6. にお進みください
・どちらでもない

5. お使いいただいて良いと思われた理由をお聞かせください。

6. お使いいただいて良くないと思われた理由をお聞かせください。

7. 別紙ご案内チラシに記載されている木のストーリーについてご感想をお聞かせください。

- ・興味深く、木の食器の使用意欲が高まる
- ・興味深いが、ストーリーは木の食器の使用意欲に影響しない
- ・その他(→ 8. にご感想を具体的にお書きください。)

8.

9. 木の食器とそのほかの素材で作られた食器の違いについて、ご意見、ご感想をお聞かせください。

10. ふだんのくらしの中で、食器やその他の製品について、木製の物をお使いになっていますか？

(回答を○で囲んでください)

- ・はい → 11. にお進みください
- ・いいえ → 12. にお進みください

11. どのような木製品を使っていますか？具体的にお答えください。

12. 木製品を使っていない理由をお答えください。

13. 今後、暮らしの中で、木の食器や製品をもっと使ってみたいと思いますか？(回答を○で囲んでください)

- ・はい → 14. にお進みください
- ・いいえ → 15. にお進みください

14. 問12で「はい」とお答えになった理由をお答えください。

15. 問12で「いいえ」とお答えになった理由をお答えください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

このアンケート用紙を店舗スタッフにご提出いただき、ノベルティをお受け取りください。

企画・実施 一般社団法人日本ウッドデザイン協会 ※この事業は林野庁補助事業で実施しています。

店舗スタッフへの研修:顧客からの問い合わせ等へ対応するため、木材や木製品に関する基礎的な情報を事前に提供した。

木の製品の使用印象調査 Q&A

Q:いま使っている食器は買えますか？

A:今回のアンケート用に制作されたものなので、残念ながら買うことはできません。

Q:この食器はどこでつくっているのですか？

A:都内のフロンティアジャパンさんという木の雑貨や小物を専門に作っている会社です。都内と多摩に工場があります。

Q:この食器は木に加工しているのですか？

A:木の表面を保護する塗装を薄く塗っており、水はけをよくしています。

Q:ヒノキとはどんな木ですか？

A:針葉樹で日本ではスギに続いて量が多い木です。よい香りがする木で、よく建材に使われます。法隆寺の木は1300年前のヒノキです。

Q:これは何のアンケートなのですか？

A:林野庁の事業で、木を使った製品のイメージをお聞きして、その良さやデメリットを調べて、木をたくさん使っていただくためにどのような政策を実施するかを考えるためです。

Q:アンケート結果はどこかで発表されますか？

A:アンケート結果をとりまとめて、報告書にするほか、ホームページで公表する場合があります。

Q:日本ウッドデザイン協会とはどんな団体ですか？

A:木を使うために企業や自治体が集まった一般社団法人です。優れた木のデザインの建築や製品を選ぶ「ウッドデザイン賞」を実施しています。

Q:なぜHappでアンケートをしているのですか？

A:都内の飲食店でお食事される一般の方々の木に対するイメージを調査したいと日本ウッドデザイン協会から依頼がありました。

Q:岐阜県の東濃(とうのう)とはどのへんですか？

A:岐阜県南東部の地域で南のほうは愛知県と接しています。



Q:木は切ってはいけないはずじゃないの？

A:日本ではスギやヒノキの森林が増えていて高齢化しているために、切って使って、新しい森に植え替える必要があるので、積極的に切ったほうがよいそうです。

Q:なぜ日本では森林が増えているの？

A:戦争で木材がたくさん必要になり、多くの森を切りました。戦後、植林をしたのですが、外国の安い木材が輸入されて、国内の森林の木があまり使われなくなったからです。

Q:なぜ、どんどん切って使わないの？

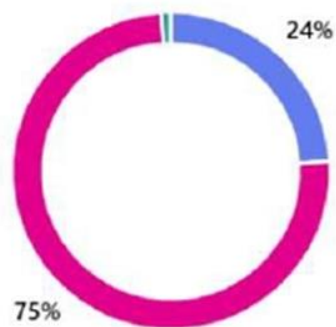
A:日本の山は険しく、国土も小さくて密集しているので、切っても運ぶのが大変だったり、林業の仕事をしている方が高齢化したりといろいろな課題があり、なかなかたくさんの木を切ることができませんでした。ただ現在は機械を使ったりして、日本の木を使うよう、いろいろな工夫がされています。

問い合わせ連絡先は協会の共有メール office@jwda.or.jp へお送りください

顧客アンケート結果1

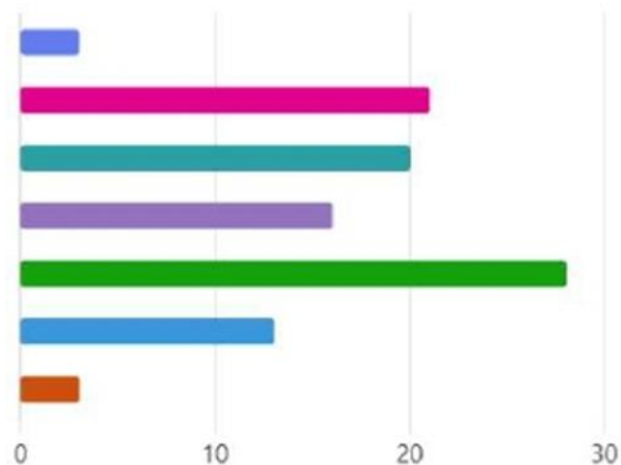
1. あなた様の性別をお答えください。

● 男性	25
● 女性	78
● 不回答	1



2. あなた様のご年齢(年代)をお答えください。

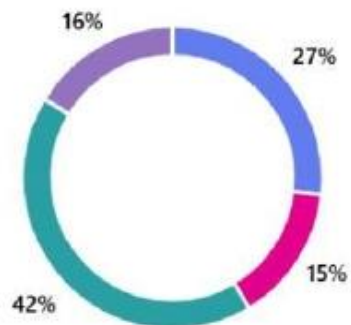
● 10代	3
● 20代	21
● 30代	20
● 40代	16
● 50代	28
● 60代	13
● 70才以上	3



顧客アンケート結果2

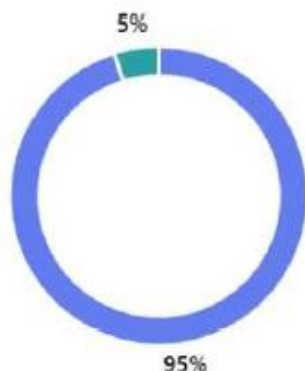
3. 本日まで使用いただいた木の食器は、次の内どれですか？（回答を丸で囲んでください 複数回答可）

● カレー皿とスプーン	33
● フォーク	18
● 丸型プレート	52
● プリン皿	20



4. お使いいただいた木の食器について、どのような感想を持ちましたか？

● 良かった	99
● 良くなかった	0
● どちらでもない	5



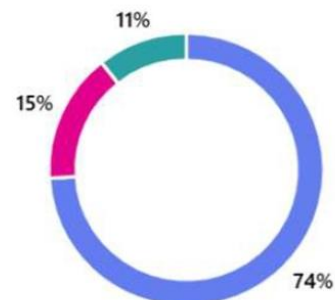
良かった理由	件数	割合
・ぬくもり、温かみ、癒し	48/99	48%
・触感(手触り、口当たり)	11/99	11%
・おいしく感じる	7/99	7%
・自然感	5/99	5%
・おしゃれ	3/99	4%
・環境に優しい	2/99	2%
・金属音がしない	2/99	2%
(デザインによる使い勝手の良さ等は除外した)		

考察: 圧倒的に好感を受けており、木のぬくもりや触感の柔らかさが1位2位を占めた。「おいしく感じる」が7件で3位となったのは特筆に値するだろう。”

顧客アンケート結果3

7. 食器に使われている木材のストーリー(お配りしたチラシに記載)についてご感想をお聞かせください。

● 興味深く、木の食器の使用意欲が高まる	77
● 興味深いが、ストーリーは木の食器の使用意欲に影響しない	16
● その他 (ご感想を具体的にお書きください)	11



自由記述意見

日本の杉など針葉樹植林地の状況に疑問あり。

元々木の食器が好きなので特に変わらず

国産材木が売れなく、山林が荒れているもっと沢山使って欲しい

興味深い

自分で組み立てられる木のキットがあると嬉しいです。例えばフレームや簡単な台、棚、、、

建材と食器などの製品では使用量も違い消費するのは大変そうだと思った。公共施設などに利用し将来のことを考え、コストを金額だけじゃなくて細かく精査する必要があると思った。

小さいときの製材所のいい匂いを思い出す

全般に資源がないなか、無駄にしない、〇〇促進になる、のはよいと思います。

孫の食器によいかなあーとおもいました

食洗機に使えるか知りたい

最近の森林の受難を考えてしまった

考察:木の製品については、その来歴や森の現状の理解が、使用意欲を向上させる傾向が明らかであった。

顧客アンケート結果4

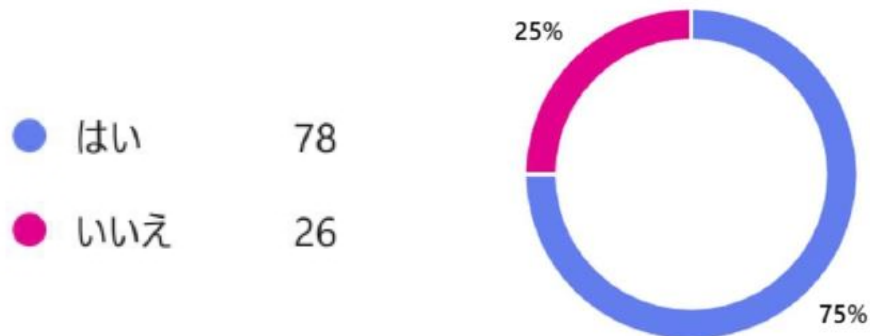
9. 木の食器とそのほかの素材で作られた食器の違いについて、ご意見、ご感想をお聞かせください。

自由記述の意見(主なもの)
ぬくもりを感じる。色合いも落ち着く。
地球にやさしくサステナブルが素材を使いたい
温かみを感じるが、手入れが大変そう、傷みが目立ちそう
陶器に比べてスプーンが皿にあたったときに柔らかい感じがした
木の方がやわらかさを感じる。軽くて割れないところが、磁器や陶器より使いやすい。一方でよく使うと塗装や漆などが劣化して使わなくなることがある。
木の食器は使うにつれ色が変わっていき、愛着がわくと思う
木製だと手触りが暖かい感じがする。音もカチカチしないのは良いと思う。
木の食器を使う事で、日本の林業や森林を守ることに繋がると改めて考えさせられた為、積極的に使っていきたいと思う。
愛着が沸いた経年変化を感じられた
国産の木材を使用するという点がとても魅力的に感じました。
使用感などが出てきて、それぞれの状態に魅力があると感じる。
壊れにくい、お手入れが大変な印象
保温性や見た目の暖かさが違うと感じます。木は経年変化が気になります(良い風合いになってくれると良いのですが…)
他の素材の食器よりも、木の食器を使うことでQOLが上がった気分になる。
落としても割れないので小さい子でも安心して使える点がいいと思います。また、触り心地も良く見た目も可愛いので食事が楽しくなるなと思います。
木であれば皆違うデザインなのが魅力的だと感じています。また、他の食器を利用するより、自然を思い起こすことができ自然からできる製品について関心が高まると思います。
木は乾燥など扱いにくい印象があります。
オンリーワン、唯一無二。自然派。大量生産、メイドインチャイナ、ケミカル
天然素材を生活に取り入れる心の豊かさ余裕を感じられる
想像より使いやすいとおもいました。ストーリーを知ることで、意識もかわり、イメージがかわることで、美味しくいただくことができました。
木の食器は温かみがあり 食との相性が良い気がする。がする。
他の食器に比べ洗い、乾燥が面倒

考察:木の食器への好感コメントの中に、木製品が、サステナブル(1件)で、森を守ることにつながり(1件)、国産材利用も好ましい(1件)との意見があった。木の特色と裏腹の、変化・劣化の懸念と手入れの悩み、特に食器洗浄機との相性の悪さを指摘されている。

顧客アンケート結果5

10. ふだんの暮らしの中で、食器やその他の製品について、木製の物をお使いになっていますか？



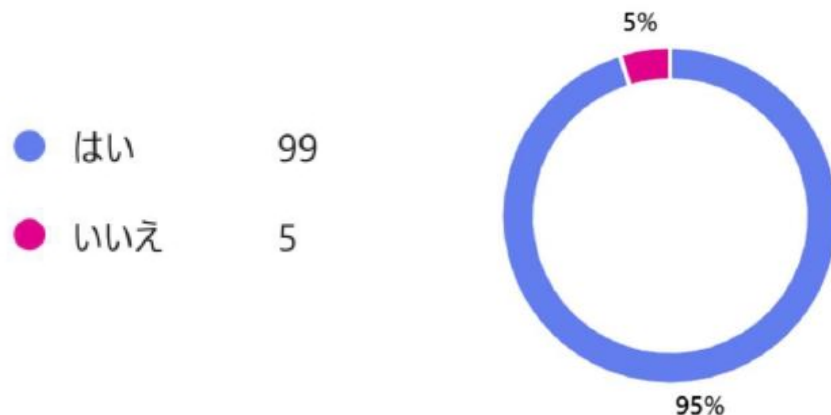
「使っている」と回答した数は78件(75)%。スプーン(21件)を筆頭に、皿、サラダボウル、カッティングボードなど、食器・調理器に集中した印象である。これは「木製食器」に関するアンケートであることも影響していると考えられる。

食器・調理器	68/78	87%
家具	8/78	10%
おもちゃ	2/78	3%
一方「使っていない理由」としては、「価格が高い」よりも、実質的な耐久性や目にする機会が少ないことが中心である。		
耐久性・手入れ	10/26	38%
機会がない・目にしない	10/26	38%
高い	2/26	8%

考察:耐久性を向上する工夫はもちろんだが、手入れ方法を含め正しい情報が不足している可能性があり、生活者が実際に木に触れ、その特性を理解してもらう機会を増やす必要がある。

顧客アンケート結果6

13. 今後、暮らしの中で、木の食器や製品をもっと使ってみたいと思いますか？



「はい」が95%と大半を占め、内訳は次の通り		
好き・使用感・おしゃれ	46/99	46%
自然・環境・林業 (内6件が今回のアンケート・ストーリーを機会に使用意欲が高まったと回答)	24/99	24%
豊かな暮らし・落ち着き・癒し	9/99	9%
「いいえ」の理由		
洗い方・手入れ・管理の懸念	3/5	60%

考察:木の好印象とは別に、今回のアンケート・ストーリーで使用意欲が高まった人がおり、今後もこのような情報発信が必要かつ有効であるとわかった。

13. 今後、暮らしの中で、木の食器や製品をもっと使ってみたいと思いますか？（続き）

自由記述による意見
生活が豊かになるように思えたから
自然のものが近くにあるっていいですね
環境とそろそろしっかり向き合いたいから、子どものためにも
割れないから長く使えるのかなと思いました
SDGsにもなるし、好みの大きさや形の物が有れば是非使いたい。
自然と共存してる感じがする
手に馴染むようにしたいから
木の質感が好きだから。
職人さんの気持ちが込められている温かみのある暮らしが良い
今回の来店をきっかけに改めて日本の林業や森林状況などについて考えさせられた為。
木の食器が届くまでの背景を知り、是非使用していきたいと思った。
森林を守ることにつながる
素材に温もりを感じる。森林の管理、間伐に以前から関心があるので、自分に出来ることをしたい。
使い心地がいいのと使うほど馴染んでくるから
今回木のお皿で食事をしてとても楽しく食事ができたので木のお皿を使ってみたいなと思いました。
無駄にせず有効利用できるものならいいと思う
木のまな板をSNSなどで見て、購入を検討している
心があたたまるからです。ほっと一息つけるような、自分を愛でることができてる実感が感じられそうです。
山の循環に貢献したい
おしゃれだしストーリーを見ると使いたくなる。ただ、食洗機が利用できるかとか、どういった手入れをした方が良いのかとかわからない部分も多いのでそこが分かればもっと購入意欲が高まると思います。
オランダの木靴とかにも興味有り まあ人類は木と共に過ごした期間が殆どで遺伝子に刷り込まれていそう
熱くなりにくいから。手触りや見た目でもっとできるから。
自然な暖かみを身体が求めている。メイドインジャパンにもっと注目したい。
国産の資源の需要率をあげたいから、和式の家が好きだから、木とアルミの家がかっこいいから
木材はコンクリート社会の中で癒しを与えるから
今日で意識が変わりました。日本人として、森林を守っていきたいので、国産木材製品を使うことで、林業を応援したいと思います。
丁寧な暮らしに繋がりそうだから
木の食器の使用感がすごくいいと思います 気分が良くなる気がする

店舗スタッフへのアンケート結果

回答者属性	木の食器で料理を提供することの		飲食店でもっと木の食器を使うために必要なこと	木の食器や製品についての印象
	良い影響	悪い影響		
運営会社社員	<ul style="list-style-type: none"> ・特別感が出る、いつもと違う ・温かみが出て、お店としても優しい印象になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと洗われて乾かされているか、不安に思う方がいらっしやるのではないか ・商品が滑りやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・手入れのし易さ ・スタッキングのし易さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球にやさしい ・おしゃれ ・丁寧な感じがする
運営会社社員	<p>あたたかみのあるお皿で、写真を撮りたくなるなど思った。</p>	<p>大きくて存在感がある。</p>	<p>食品との親和性</p>	<p>丁寧な暮らしをしている人が使っている印象</p>
店舗スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントをやっている感が伝わりやすいと感じました。 ・木のエピソードのチラシがあるのも、P客様に提供した際の感じ方に、良い意味で影響すると思いました。 	<p>色やニオイ移りが少し心配でした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト面 ・衛生面 ・使いやすさ ・重ねやすさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちゃんと手入れをすればずっと使えて経済的 ・家の空間にあたたかさが増す ・良い香りがする
店舗スタッフ	<p>インテリアに合う。</p>	<p>食洗器で洗えない事。</p>	<p>傷や汚れに気を使うこと。</p>	<p>料理が映える。</p>
店舗スタッフ	<p>手触りがいい。</p>	<p>少々すべりやすい。</p>	<p>手入れのしやすさ。</p>	<p>暖かみがあって、お洒落。</p>
店舗スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・さわり心地がとても良い。 ・色がきれい ・形がかわいいので運ばれて来たらうれしく感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・さわり心地がとても良いので、手がすべってしまいそう ・においがうつりやすいかも・・・？ 	<p>食品との親和性</p>	<p>日常的に使うことがあまりないのでとても上品な印象</p>
店舗スタッフ	<p>かわいい。おしゃれ。 ナチュラルでいい。 ツルツルしてきもちがいい。</p>	<p>すべりやすい。</p>	<p>においが商品にうつらない</p>	<p>温みがあってよい。</p>
店舗スタッフ	<p>見た目がかっこよくなり、木のあたたかさが伝わってくるので、気分が上がりました</p>	<p>とくになし</p>	<p>速乾性</p>	<p>乾くのに時間がかかる</p>

考察: 全員が、顧客へ飲食の提供を行う当事者として木製品に好印象を抱いており、お店への良い影響を多数上げている。日常的な利用においては、色や匂い移り・すべりやすさが複数の指摘があった。また重ねやすく手入れがしやすく食品との親和性が必要とされた。少数意見だが、食器洗浄機で洗えること、速乾性は現実的には重要なポイントといえる。